

事業所名

多機能型通所支援事業所スペース

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R6年

9月

30日

法人（事業所）理念		「結果を出す!」 一人一人の明確なゴールを設定し、自分らしい生き方で地域社会でも最大限の力を発揮できるように支援します。					
支援方針		【専門的な支援】 適切に個々に合わせた評価を行っています。(WISC-V、J-MAP、LCスケール、視知覚検査など)また、それに基づく適切な支援を常勤の専門職(作業療法士、言語聴覚士、公認心理士)が提供していきます。 【ニーズに合わせた支援】 一人ひとりの発達の状態や特性に応じて、小集団療育・個別療育を実施しています。また保育所等訪問支援では小学校や児童クラブの先生方と連携を図り、集団生活での支援方法を提案していきます。					
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	食具操作の獲得や、スケジュール管理など、健康的な生活を送る支援を行っています。 また、手洗いや消毒など感染防止に関わる支援も行います。					
	運動・感覚	室内・室外で身体を動かし、姿勢保持や筋力の維持・強化を行います。 学校での苦手感の見える縄跳びや跳び箱など、授業で触れる活動に対して楽しく取り組むことができるよう、支援を行っています。 季節ごとの行事に合わせた感覚遊びを取り入れ、感覚統合プログラムを導入しています。					
	認知・行動	集団生活において、時計の読み取りを通じた時間管理・さまざまなタイマーなどを用いた場面の切り替えなど、ルールの理解や社会的規範を獲得するための支援を行います。 ボディイメージ課題や、ヴィジヨントレーニングを通して、適切な認知と適切な行動の習得をねらいとしています。					
	言語 コミュニケーション	構音訓練・語彙拡大訓練を通してコミュニケーションにおける基礎的能力向上を目的とした訓練を行っています。 伝言ゲームなどの課題を通して、言語の受容及び表出を支援しています。					
	人間関係 社会性	実際に発生した事例をもとに、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通してコミュニケーションの取り方や、自分の気持ちの伝え方、他者の思考や感情を考える力を養います。 活動や行事の際に事業所独自のお金を用いて、金銭のやり取りや管理を目的とした取り組みも行っています。					
家族支援		・ペアレントプログラム ・活動場面の見学と解説 ・相談対応（事業所内・家庭内・ZOOM）			移行支援		学校や放課後児童クラブとの併行利用など、本児の生活環境の向上のための移行支援を行います。 その際は、学校、放課後児童クラブ等と連携し、調整と情報交換等を行い、児童が円滑に移行できるよう支援します。
地域支援・地域連携		・公共施設（公園など）での地域の児童との交流			職員の質の向上		・毎日のフィードバック（活動の振り返りや各専門職の意見交換） ・月1度の施設内研修 ・市や発達支援センターの開催する研修への参加 ・外部研修への参加と資格取得の推進（全職員）
主な行事等		・夏祭り ・季節の行事（スイカ割り、クリスマス制作） ・クリスマス会 ・防災訓練					